

新型コロナウイルス感染症の治療のため医療機関に入院されていた本市の患者の方が、本日4月19日にお亡くなりになりました。

4月8日に市内で初めて感染症患者が確認されて以来、これまで37名の感染が確認され、各医療機関において懸命の治療が行われてきたところですが、誠に残念ながら、本日の訃報に接することとなりました。

ご遺族の方々のご心痛を察し、謹んで哀悼の意を表するとともに、心よりお悔やみを申し上げます。

市といたしましては、改めてこの感染症とのたたかひの厳しさを認識するとともに、より一層危機感を持って全力で感染拡大防止に努めて参ります。

市民の皆様におかれましても、「外出自粛」や「2メートルの距離」の確保、「他県との往来自粛」を順守していただくとともに、「手洗い、うがい、咳エチケット」を励行していただき、更に「3つの密」を避けていただくことを今一度徹底していただきますようお願いいたします。

大きな悲しみの中にあるご遺族の方々を支えていただきますよう、すべての市民の皆様をお願いいたします。そして、私たち三次市民が更に一致団結して感染防止に取り組んでいきたいと思っております。

引き続き、市民の皆様の御理解と御協力をいただきますようお願いいたします。

令和2年4月19日

三次市長 福岡 誠志